



会長	遠藤光則			
幹事	猪股育夫			
会報	佐藤敬喜	佐々木	崇	
	菅原文之	小竹	秀	
	菅野佳旦	佐藤	静	
例会場	ホテルサンシャイン佐沼	☎22-8180	FAX22-0327	
例会日	毎週木曜日	12:30~13:30		
事務所	ホテルサンシャイン佐沼	☎22-8180	FAX22-0327	

第2399回例会 2013. 5. 9 No.41

本日の出席率

- ・本日の出席率 64.2%
- ・前回確定出席率 71.6%

ニコニコボックス

- ・遠藤光則会長 太田陽平会員のスピーチ担当、代理のスピーカー藤浦稔文さんを歓迎致します。
- ・布施孝之会員 所用のため2週間ほど欠席いたしました。本日のスピーチに期待します。
- ・菅原文之会員 太田陽平会員のスピーチに期待して。大宮シティRCの南三陸町水戸辺「復興ザクラお花見の宴」参加の皆様、大変ご苦労様でした。
- ・太田陽平会員 スピーチ担当です。ゲストスピーカーとして藤浦稔文さんに来ていただいています。よろしくお願い致します。
- ・高田次雄会員 連休中、お孫さん達と楽しく過ごされたこととお喜び申し上げます。太田陽平会員のスピーチ、勉強させていただきます。
- ・猪股育夫幹事以下 太田陽平会員のスピーチに期待して。
鈴木彦太会員 村上武彦会員 及川勝永会員
佐々木崇会員 佐藤幸一会員 氏家良典会員
伊藤俊郎会員 菅野幸一郎会員 山田直志会員
二階堂學会員 阿部賢悟会員 佐藤静市会員
佐々木源悦会員 佐々木功一会員 小泉洋会員
高橋利光会員 富士原裕子会員 武川毅会員
高橋義文会員 岩淵栄市会員 佐藤早智子会員
以上、ありがとうございました。

会長要件 遠藤光則会長

ロータリーの友に毎月「ロータリーとは」の欄にロータリーの誕生とその成長と題して載っております。内容は今さら申すまでもなく皆様は何度もお聞き

になっていると思いますが復習の意味でちょっと申し上げたいと思います。

20世紀初頭のシカゴの街は、目覚ましい経済発展をしていた。ただ、商業道徳が非常に悪い状態でありました。弁護士のポール・ハリスが友人3人と語り、仕事上の付き合いをしながら道徳を重んじ、それが、親友関係まで発展するような仲間づくりをしようという主旨で会をつくり、その話し合いを各自の事務所を持ち回りで順番に開催した。いわゆるロータリー集会を開催した。それが1905年2月23日にロータリークラブの誕生ということです。志を同じくするクラブが次々に各地に生まれ、国境を越え今では200以上の国と地域に広がり、クラブ数34,297、会員総数1,211,868人となっています。日本ロータリーは1920(大正9)年10月20日に東京ロータリークラブが創立され、翌1921年4月1日に、世界で855番目の加盟が承認されました。第2次世界大戦で1940年に脱退し、9年後に復帰加盟しました。その後、日本の拡大は目覚ましく、現在は日本全体でクラブ数2,285世界で約6%、会員数88,640人となっており、世界の約7.3%とかなりウェートを占める様になりました。(2月28日現在)

これだけ多くの仲間がいる中で、佐沼クラブも50名の会員がおります。出来るだけ例会等に出席して仲間と情報の交換をし、地区大会、他クラブの周年事業に参加をする、せめて委員会に出席することが、ロータリークラブに入会した大きな意義だと思います。入会のきっかけは様々だと思いますが、折角入会されたのですから、例会に出席し友人をつくり、いずれは自分自身のロータリー活動を楽しみにする。その様な会員になればいいのかなと思います。皆様も、もう一度ロータリー活動というものを考え直していただければと思います。

幹事報告 猪股育夫幹事

- ・「ザ・ロータリアン」誌が届く
- ・5月30日の例会は、50周年記念式典フォーラムです。又、長期交換留学生の村上真菜さんより、帰国後の生活報告ということでスピーチをいただきます。

各委員会報告

- ・次年度関係 (佐々木源悦次期会長)
先週の理事会で会務分担が決定致しましたので、皆様に「会務分担表」をFAX送信しました。次年度の委員長会議を6月6日前後に開催の予定です。よろしくご協力の程お願い致します。又、近いうちに岩淵正彦次期幹事より「活動計画」のお願いがあると思いますので、よろしくお願い致します。

今週のスピーチ

「認知症を理解しましょう」

(有)さくら 取締役福祉事業部長

藤浦 稔文様

弊社は、平成15年に南方町で初めて介護事業を始めさせていただき、以来10年、現在グループホームが34床、デイサービスと居宅介護支援事業所が1ということ5事業所で福祉事業所を営ませていただいております。

今日は、「認知症について」と言うことですが、もう皆様は認知症については十分ご存知だろうと思っておりますが、再度、こういうものだと思っただけばとお話いたします。簡単なレジメを作って参りましたのでそれに沿って進めて参りたいと思います。

認知症とは単なる物忘れとは違います。ちょっとした物忘れではなく色々な原因で脳に疾患があって、脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなったために、日常生活を送る上で様々な支障が出ている状態を指します。ちょっとした物忘れがあって、何も日常生活を行う上で問題がない場合は認知症ではないと私達は考えております。

では、どの様な病気になっているかと言いますと、今はアルツハイマー認知症が約半分、あとは男性に多い脳血管性認知症、レビー小体型認知症といったタイプの認知症があります。原因疾患によって色々症状は出ますが、認知症の症状として分けられるものに、中核症状と周辺症状があります。中核症状には、記憶障害、見当識障害、実行機能障害、その他の認知機能障害と4つのおもな症状があります。ご飯を食べたことを忘れてしまう。昨夜の食事内容を忘れるのは単なる物忘れであって、認知症の場合はご飯を食べたという事実を忘れてしまう。色々あった事実がポツンと切れてしまう、そういったことが記憶障害で、新しいことが記憶できず、病気が進行すれば、これまで覚えていた記憶も徐々に失われていきます。

人がわからなくなる見当識障害は、記憶障害と並んで早くから現れます。まず時間や季節感が薄れることから始まります。今は何時なのか、どういう時間帯にいるのかよく分からない。又、部屋の中で暖房がき

ていると夏、冷房がきいていると冬といったように体感している温度で季節を判断してしまいます。病気が進むとそれすらわからなくなってきます。

買い物のお会計で細かいお金が出せなくなる。単純な計算が出来なくなる理解・判断力の障害です。考えるスピードが遅くなり、いつもと違うことで混乱を起しやすくなります。

実行機能障害は、冷蔵庫の中に同じ食材が何個もあります。買ってある物が良く記憶されていないということで、常に自分の気に入ったものを買って冷蔵庫にしまっておく。又、料理がうまく出来なくなります。もしくは、色々な行動、よく段取八分と言いますがその段取がうまく出来なくなってきます。そのため一番わかりやすい症状です。味噌汁の具が切らないまま入っていたりすると、症状は大分進んでいると思っ

たいただいよいかと思います。認知症は、この4つの症状だけですと非常に介護するのに楽ですが、それ以外に行動・心理症状(BPSD)が出てきます。もともとは4つの障害ですが、それによって引き起こされる、もしくは、それによって外部との摩擦によって起きてくる症状です。物忘れなどの認知機能の低下を自覚し、将来を悲観しうつ状態になってきます。病院では老人性うつという診断をもらい、イライラすることが多くなり、今までの日課をしなくなります。そういった症状があらわれた時には出来るだけ早く専門の医師の診断等を受けることが大事です。そのためには今、この時点から信頼できるホームドクター等とお付き合いを持つことが大切だろうと思います。日常の私達の姿をきちんと捉えてくれる医師がいることで、その変化を早く気付いてもらう、そして、早く治療を始めることで今の認知症を治すことは出来ませんが、ゆっくり進行することで日常生活をあまり混乱なく送っていくことが出来るだろうと思っております。

一番多いアルツハイマー型認知症は、軽度から重度にだんだん進行していきませんが、脳が萎縮していくということです。βアミロイドという蛋白質が脳にくっつき脳がだんだん小さくなっていきます。

治る認知症というものもあります。血管性認知症はリハビリである程度治していくことが出来ます。他にもありますので、病気の診断がとても大切になってきます。早期発見・早期治療を受けることで、自分らしい生き方をすることが出来ます。認知症の予防に心掛けてほしいと思います。



ゲストスピーカー 藤浦稔文様